

＜報告事項＞ 令和6年度事業報告

令和6年度事業報告書

東京から排出される膨大な産業廃棄物の適正処理及び資源循環を推進していくためには、排出事業者、処理業者、都民、行政が、それぞれの責任と役割を踏まえ、連携・協働した取組を具体的に進めていくことが必要である。

令和6年度、協会は東京都との緊密な関係の下に、脱炭素の取組を踏まえた資源循環に取り組んだ。また、会員における、労働災害防止の徹底、人材の確保・定着、デジタルトランスフォーメーションを進めた。

引き続き、会員サービスの改善などに努め、会員増強を図っていく。

以下、主な活動を報告する。

1. 適正処理・資源循環推進事業

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

法令改正や、資源循環産業の一翼を担う産業廃棄物処理業界の社会的役割等も十分踏まえながら、適正処理の推進と循環型社会・脱炭素社会・デジタル社会の進展に向けた調査研究を行い、東京都などに対し提案・要望を行った。

・「災害時支援可能機材・施設等調査」を実施した（5、6月）。

会員532社に調査を行い、151社から回答があり、回収率は28.3%であった。この結果を関東地域協議会及び東京都に提出した。今後、災害廃棄物処理に係る協力支援体制を検討する。

・令和7年度東京都予算要望について、都議会各政党に要望活動を行った（8月）。東京都知事に要望活動を行った（11月）。

2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんぱい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

① 建設廃棄物・四団体合同施設見学会・意見交換会

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

参加団体 : (一社)東京建設業協会、(一社)東京建物解体協会、(一社)東京都中小建設業協会、(一社)東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会
期　　日　　: 令和6年10月3日
見　　学　　: 株式会社フライトワン
意見交換相手: 東京都環境局、都市整備局
内　　容　　: • コンクリート塊等の資源循環
　　　　　　• 資源循環とDX
　　　　　　• 再生砕石と汚泥の利用活用と促進
　　　　　　• 「リチウムイオン電池　捨てちゃダメ！」プロジェクト
　　　　　　• DXプロジェクト

② 医療廃棄物適正処理研修会

研修会の開催に代えて、東京都医師会のホームページ上に関係団体から提供された資料を一定期間掲載するとともに、医療廃棄物委員会で資料を作成し提供した（資料掲載期間：令和7年3月1日～3月31日）。

〔本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会　主催〕

2) 講習会事業（許可申請等に関する講習会）

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である（公財）日本産業廃棄物処理振興センターに協力し、多くはWeb申込によるオンライン学習の後、会場で試験を受ける方法で実施した。なお、（対面）とあるのは、会場で講義・試験を行う方法で実施した。

① 新規許可申請講習会

1, 294名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

令和6年 5月	1回	開催	136名
令和6年 9月	1回	開催	116名
令和6年10月	1回	開催(対面)	140名
令和6年11月	1回	開催	113名
令和6年12月	1回	開催	114名
令和7年 2月	1回	開催(対面)	137名
令和7年 3月	1回	開催	109名

イ 産業廃棄物の処分課程

令和6年 6月	1回	開催	90名
令和7年 1月	1回	開催(対面)	89名

ウ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和6年11月	1回	開催(対面)	84名
令和7年 3月	1回	開催	90名

エ 特別管理産業廃棄物の処分課程

令和 6 年 10 月	1 回	開催(対面)	36 名
令和 7 年 2 月	1 回	開催	40 名

② 更新許可申請講習会 1,804 名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和 6 年 4 月	2 回	開催	285 名
令和 6 年 5 月	1 回	開催	143 名
令和 6 年 6 月	1 回	開催	139 名
令和 6 年 7 月	1 回	開催(対面)	143 名
令和 6 年 9 月	1 回	開催	144 名
令和 6 年 9 月	1 回	開催(対面)	146 名
令和 6 年 11 月	1 回	開催(対面)	144 名
令和 6 年 12 月	1 回	開催	141 名
令和 7 年 2 月	1 回	開催	144 名
令和 7 年 3 月	1 回	開催	137 名
令和 7 年 3 月	1 回	開催(対面)	142 名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

令和 6 年 10 月	1 回	開催	96 名
-------------	-----	----	------

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2,003 名

令和 6 年 4 月	2 回	開催	218 名
令和 6 年 5 月	2 回	開催	180 名
令和 6 年 6 月	2 回	開催	200 名
令和 6 年 7 月	1 回	開催(対面)	146 名
令和 6 年 9 月	2 回	開催	279 名
令和 6 年 10 月	1 回	開催	135 名
令和 6 年 10 月	1 回	開催(対面)	145 名
令和 6 年 11 月	1 回	開催	134 名
令和 6 年 12 月	1 回	開催	139 名
令和 6 年 12 月	1 回	開催(対面)	140 名
令和 7 年 2 月	1 回	開催(対面)	145 名
令和 7 年 3 月	1 回	開催	142 名

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会(医療関係機関等対象) 118 名

令和 6 年 12 月	1 回	開催	65 名
令和 7 年 2 月	1 回	開催	53 名

⑤ P C B 廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 78 名

令和 7 年 2 月	1 回	開催	78 名
------------	-----	----	------

(3) 相談指導事業

会員その他業界関係者、一般企業や都民からの産業廃棄物の処理業者の紹介、斡旋に関する協会への問い合わせに的確に対応した。

令和6年度の相談実績（4～3月）

3,083 件の内訳

I. 問合せ者の内訳			II. 紹介先の内訳		
	内訳	件数		内訳	件数
排出事業者	① 産廃処理業関係	130	① 会員を紹介	2,315	
	② 建設業関係	43	② 各自治体 (清掃事務所等)	297	
	③ 行政関係 (区市町村)	56	③ 粗大ごみ受付センター 家電リサイクル受付センター	95	
	④ 医療機関	121	④ リサイクル関連団体	18	
	⑤ 一般都民	1,416	⑤ 東京都(法律相談等)	146	
	⑥ その他	1,317	⑥ JWセンター	118	
			⑦ 飛沫防止パーテーションのリサイクル	26	
			⑧ その他	68	

2. 環境対策事業

(1) 環 境 活 動

なし

(2) 環境対策事業

なし

(3) 災害廃棄物対策事業

「災害廃棄物委員会」を令和6年4月に設置し、当協会の災害廃棄物処理支援体制について検討している。

5月に「災害時支援可能機材・施設等調査」を実施し、関東地域協議会及び東京都に報告した。

全国産業資源循環連合会関東地域協議会は、8月に「災害廃棄物委員会」を開催し、1都7県協会が実施した「災害時支援可能機材・施設等調査」の調査結果を報告した。今後、令和5年6月に締結した災害廃棄物処理に係る相互応援協定に基づく相互応援体制について検討していく。

また、23区と締結した災害廃棄物処理支援協定の実施細目が11月に策定されたので、今後具体的な支援策について検討していく。

3. 普及事業

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんぱい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

2) 図書等の有償頒布

有償頒布図書

(4月～3月)

建設廃棄物処理委託契約書	1,180部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	99部

3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、（公社）全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔（公社）全国産業資源循環連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

(4月～3月)

種類	単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	131,200 セット	187,000 セット
	積替用	20,200 セット	24,500 セット
建設系廃棄物	216,500 セット	216,000 セット	432,500 セット
合計			795,400 セット*

* 対前年度比 111%

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

(4月～3月)

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	19,300 セット
--------------------------	------------

* 対前年度比 105%

(2) 機関誌の発行事業

協会における基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第404号から第415号を発行した。

内容は、協会、（公社）全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

〈主な記事〉

- ① 第404号 令和6年度 東京都予算決まる
- ② 第405号 就任のご挨拶 (東京都環境局・八王子市 関係職員)
- ③ 第406号 [第12回 定時総会]
鈴木宏和会長再任、新役員迎え3期目スタート
- ④ 第407号 新任役員「就任の抱負」
- ⑤ 第408号 [多摩支部だより]
令和6年度 多摩支部会・講習会・研修会を開催
- ⑥ 第409号 令和7年度 東京都予算で要望活動
- ⑦ 第410号 [医療廃棄物委員会]
令和6年度 一都二県医療廃棄物合同懇談会を開催
- ⑧ 第411号 [建設廃棄物委員会]
四団体合同施設見学会・意見交換会を開催
- ⑨ 第412号 新入会員と協会役員との懇談会
- ⑩ 第413号 新年のご挨拶 会長／東京都環境局長
- ⑪ 第414号 第1回 安全衛生推進大会／令和7年 賀詞交歓会
- ⑫ 第415号 令和7年度 事業計画及び予算決まる

(3) 会員事業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① アルコールチェック研修会

「再確認！白ナンバーアルコールチェック義務化に伴う
企業がやるべきポイントは？」

〔収集運搬委員会主催〕

期日：令和6年6月25日 33名

内容：第1部「白ナンバー」保有事業者のアルコール検知器の
使用義務化について

第2部「会員企業による取組事例紹介」

講師：中央自動車工業株式会社

株式会社京葉興業

場所：エッサム神田ホール2号館（千代田区）

② 温暖化防止エコドライブ研修会

〔収集運搬委員会主催〕

期日：令和6年7月24日 21名

内容：走行体験 <通常運転>

座学講習 <省燃費運転のポイント>

走行体験 <省燃費運転>

講評

講師：日野自動車株式会社 お客様テクニカルセンター

場 所 : 日野自動車株式会社 羽村工場

③ 事故防止研修会

「交通事故防止は継続が全て

継続し成果が出るポイントはタイパとコスパ！」

〔収集運搬委員会主催〕

期 日 : 令和6年11月29日 54名
内 容 : ・20年間交通事故防止に取り組み培ったノウハウご紹介
・交通事故防止は〇〇を変えないと実現しない！
・継続させるためにはタイムパフォーマンスは必須
・コストをかけても交通事故がなくなるらしい…?
・削減効果を出し続ける事故防止活動はこんなにシンプル
講 師 : ディ・クリエイト株式会社
場 所 : エッサム神田ホール2号館（千代田区）

④ 最新技術・設備の説明会

〔中間処理委員会主催〕

期 日 : 令和6年7月17日 41名
内 容 : 最新技術・設備について
講 師 : 株式会社御池鐵工所、株式会社サナース、ウエノテックス
株式会社、株式会社アーステクニカ、株式会社クボタ、株
式会社アクトリー
場 所 : エッサム神田ホール2号館（千代田区）

⑤ 「見える化DXに向けた取組み」オンラインセミナー

〔中間処理委員会主催〕

期 日 : 令和6年11月25日 39名
内 容 : CO2見える化DX取組み
講 師 : アスエネ株式会社、株式会社ゼロボード、サーキュライズ
場 所 : サイクラーズ株式会社 サテライトオフィス（品川区）

⑥ 「サーキュラーエコノミー」オンラインセミナー

〔中間処理委員会主催〕

期 日 : 令和7年3月7日 70名
内 容 : 循環経済で拓く企業革新と地方創生
講 師 : 一般社団法人循環経済協会（株式会社HARITA）
場 所 : 協会会議室

⑦ 「助成金活用」オンラインセミナー

〔中間処理委員会 中和・脱水分科会主催〕

期 日 : 令和6年7月22日 28名
内 容 : 産業廃棄物業界における助成金活用
講 師 : 株式会社コムラッドファームジャパン、株式会社イーアイ
アイ

場 所 : 協会会議室

⑧ 「LCA」オンラインセミナー

〔中間処理委員会 中和・脱水分科会主催〕

期 日 : 令和7年2月3日 39名
内 容 : LCA（ライフサイクルアセスメント）による
環境影響見える化の基本
講 師 : 株式会社ゼロック
場 所 : 協会会議室

2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会（5月24日）及び賀詞交歓会（1月24日）を開催した。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部が諸活動を積極的に行った。

② 会員数の維持・増加を図るため、入会希望者に対して丁寧な説明を行うなど、あらゆる機会を活用して会員数の維持・増加に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、協会役員との意見交換会を6月19日と11月6日に開催した。

会員数の推移

	正会員	賛助会員	計
令和6年3月末日会員数	536	79	615
令和6年4月1日会員数	535	77	612
令和6年度 入会者数	6	3	9
〃 退会者数	10	9	19
令和7年3月末日会員数	534	73	607

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行っている。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

全産連等が主催する「産業廃棄物と環境を考える全国大会」が11月15日に岐阜で開催され、協会会員等22名が参加した。

3) 頴彰・表彰事業

令和6年5月24日の当協会定時総会で、『功労者』3名、『優良事業所』5社、『優良従事者』11名、『安全衛生・会長賞』1名を表彰し、『感謝状』を3名に贈呈した。

4) 人材の確保に向けた採用支援

人材確保プロジェクト

5月9日に会議を開催し、令和6年度の活動計画を決定した。6月21日の会議（オンライン）では、主催行事の具体的な活動内容等について検討した。

7月29日、会員向けオンラインセミナー「ドライバーの人材採用を1UP！～自社の魅力を発掘し届ける3つのポイント！」（講師：株式会社LIGO）を開催した。9月5日の会議では、求人広告会社の担当者を招き、新卒採用市場の現状、採用サイトの活用方法等について情報を得た。

10月30日、昨年に引き続き会員企業の若手社員を対象とした「若手社員のためのスーパーイコタウン研修会《第2回》」を実施（講演、スーパーイコタウン施設見学及びグループディスカッション）、参加者は43名であった。

2月27日の会議では、令和7年度の活動について検討した。

4. 管理運営

(1) 総会（1回）

第12回定時総会 期日：令和6年5月24日
場所：ホテル椿山荘東京（文京区）
議案：①令和5年度事業報告
②令和5年度決算報告承認の件
③理事・監事選任の件
出席者：373名（委任状・議決権行使書を含む）
535名（総正会員数）

(2) 理事会（定例会9回）

第88回理事会 期日：令和6年4月10日
第89回理事会 期日：令和6年5月8日
第90回理事会 期日：令和6年6月12日
第91回理事会 期日：令和6年7月10日
第92回理事会 期日：令和6年9月11日
第93回理事会 期日：令和6年11月6日
第94回理事会 期日：令和6年12月11日
第95回理事会 期日：令和7年1月15日
第96回理事会 期日：令和7年3月12日

(3) 常任理事会（8回）

令和6年 4月10日 4月24日 5月8日 6月12日 7月10日
令和7年 1月15日 3月12日 3月25日

(4) 第1回安全衛生推進大会

〔企画・運営 安全衛生推進委員会〕

期 日 : 令和7年1月24日

場 所 : 東京プリンスホテル（港区）

出席者 : 正会員 150名

来 賓 : 東京労働局 労働基準部 安全課長

講 演 : 産業廃棄物処理業における
労働災害防止対策について

【講師】東京労働局 労働基準部安全課

地方産業安全専門官

(5) 協会事務運営

1) 会費の集金事務（自動振替のすすめ）

正会員会費の「預金口座振替制度」は以前から実施していたが、協会事務の効率化と請求書発送料等通信運搬費の削減のため、原則預金口座からの自動引き落としとすることを令和元年7月の理事会で決定した。現在、82%の正会員が自動振替となっている。

2) 会員への電子メールによる情報提供

情報提供の迅速化、複数回の連絡による周知徹底等のために、電子メールによる情報提供を進めた。

3月末現在でメールアドレスを登録いただいた正会員は86%、賛助会員は93%である。

5. 委員会・部会活動

(1) 総務委員会

① 11月6日に委員会開催

② 3月25日に委員会開催

(2) 法制度検討委員会

① 6月18日、9月20日、12月18日、2月27日に委員会を開催した。

② 東京都のモデル契約書にリチウムイオン電池に係る条項を明記する件について報告を行った。

③ 拘束時間削減に向けたドライバー交換方式運用時のマニフェスト記載についての議論を終結した。

④ 一般廃棄物を産業廃棄物処理業者が扱えるようにするための法改正について、高度化法との関連性があるため、勉強会を当委員会内で開催した。

- ⑤ 9月20日の委員会内にて、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課課長の松田氏をお呼びし、一般廃棄物を産業廃棄物処理業者が扱えるようにするための法改正について再資源化事業等の高度化に関する法律勉強会を行った。

(3) 広報委員会

機関誌「とうきょうさんぱい」の発刊

- ① 機関誌発刊のため、毎月1回（年12回 開催予定）委員会を開催した。
- ② 法令関係等会員各位へ迅速にお知らせすべき事柄に注力した。
- ③ 協会主催の行事内容については詳細に伝達した。
- ④ 協会各役員の協会運営への方策活動について伝達した。
- ⑤ 資源循環情報等、会員各位の事業紹介について原稿を募集した。
- ⑥ 会員読者の誌面への参加を求めた。

(4) 安全衛生推進委員会

- ① 6月4日、11月20日、3月5日に委員会を開催した。
- ② 協会名入り安全週間ポスターを会員各社に配布した。（5月）
- ③ ヒヤリハット事例を協会機関誌に毎号掲載した。
- ④ 安全衛生標語募集を行った。（9月）（1月安全衛生推進大会で表彰式）
- ⑤ 東京労働局との合同安全衛生パトロールを行った。（10月24日）
- ⑥ 安全衛生推進大会を開催した。（1月24日）
- ⑦ 安全衛生活動の現状調査を行った。（12月に全正会員へ郵送）

(5) 災害廃棄物委員会

- ① 災害廃棄物処理支援体制の検討のため、東京都及び23特別区と調整を進めた。
- ② 「災害時支援可能機材・施設等調査」を実施し、関東地域協議会及び東京都に報告した（5月）
- ③ 23特別区と「災害時における災害廃棄物の収集及び運搬に関する協定」の実施細目について調整を行い、同実施細目が策定された（11月）。
- ④ 災害廃棄物処理に関する取組・官民連携等について、環境省関東地方環境事務所と意見交換を行った。

(6) 収集運搬委員会

- ① 5月14日、12月5日、2月12日に委員会を開催した。
- ② 5月14日の委員会内で、ドライバー高齢化に伴う諸課題についての情報共有化・ディスカッションを行った。
- ③ 6月25日に研修会「再確認！白ナンバーアルコールチェック義務化に伴う

企業がやるべきポイントは？」を開催した。

- ④ 7月24日に温暖化防止エコドライブ研修会を開催した。
- ⑤ 9月27日～28日に施設見学会（株式会社プラニック）を開催した。
- ⑥ 11月29日に研修会「交通事故防止は継続が全て～継続し成果が出るポイントはタイパとコスパ！」を開催した。

(7) 中間処理委員会

- ① 4月11日、3月7日に委員会を開催した。
- ② 7月17日に「最新技術動向の説明会」を開催した。
- ③ 10月23日に（一社）日本化学工業協会との意見交換会を開催した。
- ④ 11月25日に「見える化DXに向けた取り組み」オンラインセミナーを開催した。
- ⑤ 3月7日に「サーキュラーエコノミー」オンラインセミナー開催した。
- ⑥ 破碎・圧縮分科会では、5月29日、2月17日に分科会を開催した。7月22日に「産業廃棄物業界における補助金活用」をテーマにオンラインセミナーを開催した。10月16日に施設見学会（株式会社アステクニカ）を開催した。
- ⑦ 焼却分科会では、分科会を9月4日に開催した。
- ⑧ 中和・脱水分科会では、4月26日と6月27日に分科会を開催した。2月3日にLCAオンラインセミナーを開催した。

(8) 建設廃棄物委員会

- ① 6月11日、3月17日に委員会を開催した。
- ② 10月3日に四団体合同施設見学会（株式会社フライトワン）・意見交換会を開催した。（参加者33名）同日に都庁と四団体で意見交換会を開催した。（参加者35名）
- ③ 建設汚泥・再生碎石分科会では、6月10日、10月29日に分科会を開催した。東京建設業協会、東京建物解体協会、当協会、建設汚泥・再生碎石分科会の代表で、意見交換を重ね、11月4日に再生碎石の活用促進について行政に要望を提出した。

(9) 医療廃棄物委員会

- ① 4月15日、5月28日、7月26日、9月9日、11月18日に委員会を開催した。
- ② 9月6日に医療廃棄物合同懇談会を開催した。当委員会が主催となり、東京・神奈川・静岡の医療廃棄物委員会・部会で一都二県医療廃棄物合同懇談会を開催し、排出事業者責任について講演会や意見交換を行った。

- ③ 10月に予定していた「感染性許可取得会員企業向け研修会」に代えて3月に「感染性許可取得会員企業向け施設見学会（エム・エム・プラスチック株式会社）」を開催した。

(10) 多摩支部

① 多摩支部会・研修会

6月21日に多摩支部幹事会・支部会・講演会（演題：自動車運転者の労働時間上限規制の適用と改善基準の改正）・研修会を開催した。

② 施設見学会

10月18日にコミュニケーション委員会主催の施設見学会（三凌愛川リサイクルセンターエコニクル）を開催した。

③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

令和7年2月14日に、多摩支部幹事会、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課との適正処理意見交換会を開催した。

(11) 青年部

- ① 幹事会を5月30日、6月26日、7月11日、9月12日、10月16日、11月14日、12月13日、1月31日、2月13日、3月13日の計10回開催した。
- ② 4月16日に施設見学会（ANA Blue Base）を開催した。
- ③ 5月30日に定時総会を開催した。また、合わせて勉強会を行った。
- ④ 8月3日に東京都内自然の中でのBBQ部員交流会を開催した。
- ⑤ 11月26・27日に視察研修会（オオノ開発株式会社）を行った。
- ⑥ 1月31日に新春講演会・賀詞交歓会を開催した。
- ⑦ 2月13日にビジネスコミュニケーションスキル研修会を開催した。
- ⑧ 4月23日に視察見学会（J&T環境㈱：Jバイオフードリサイクル、Jサーチュラーシステム）を開催予定。

(12) 女性部

- ① 幹事会を4月18日、5月16日、6月20日、8月29日、9月26日、10月17日、11月28日、12月19日、2月3日、3月5日の計10回開催した。
- ② 6月20日に定時総会と合わせて施設見学会（武藏野クリーンセンター）を開催した。
- ③ 8月29日に女性部全体会を行った。
- ④ 10月4日に女性部20周年の記念式典を開催した。
- ⑤ 12月19日の幹事会後に年末法律勉強会を開催した。